

ワークショップ通信 VOL2

第2回会議 2023.10.20 @鉢形財産区会館

第2回ワークショップ会議では、各校が抱える課題の共有と、その対応策への理解を深めることを目的として議論いただきました。

ワークショップ内容

5つのグループに分かれ、各問いについて活発な議論が行われました。

問いのメリット・デメリットを整理し、最後にグループの代表者による発表を実施いたしました。

～ 問いの内容 ～

問1 児童生徒数、学級数の減少によるメリット・デメリットについて考えよう!

【小・中学校の課題に対する対応策の検討】

問2 案1 既存小学校を改修して利用を続ける場合

問3 案2 2つの小学校を集約化し、新校舎を城南中学校敷地内に建設する場合

問4 案3 既存小学校1校を改修し、集約化する場合

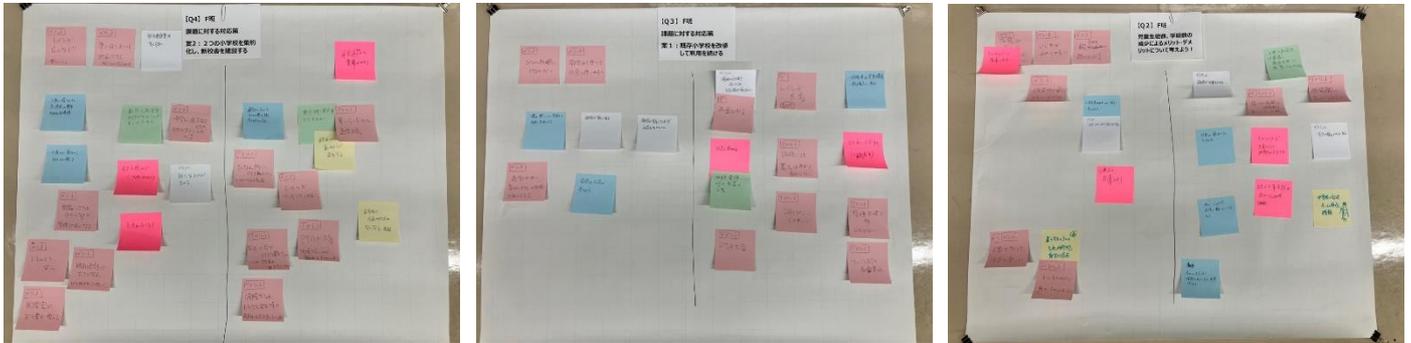
限られた時間でしたが、活発な議論により、多くの意見を集めることができました。

当日の様子



○ 幅広い意見や考えを収集・集約するため、とにかく思いついたアイデアや考えなどを付せんに1枚ずつ、どんどん書いていただきました。さまざまな意見の付せんをグループ分けすることで、まとまりにくい事柄も、効率的に整理することができました。

○ 多くの付せんが貼られ、たくさんの意見を収集することができました!



現状の課題に対する対応策についての検討 参加者から出た意見(一部抜粋)

02

既存小学校を改修して利用を続ける場合

- 思い出の場所が残る
- 母校の伝統が守られる
- 施設がキレイになる
- 通学が変わらない

- × 費用対効果が低い、改修費用が多額
- × 改修中の学習環境に懸念
- × 児童数減少の課題が残る
- × PTA(の運営)がきつい、大変

03

2つの小学校を集約化し、新校舎を城南中学校敷地内に建設する場合

- 複式学級の解消
- 中一ギャップが解消される
- 小学生と中学生の交流ができる
- 新築校舎で学べる
- 他の案と比較して費用が安価

- × 通学距離が遠くなる
- × スクールバス等通学環境の整備が必要
- × 先生が目が行き届きにくくなる
- × 部活動の時の小学生の安全が心配
- × 避難所が確保されるのか心配

04

既存小学校1校を改修し、集約化する場合

- 複式学級の解消
- 維持管理費用が削減できる
- 学校行事がにぎやかになる
- 施設がキレイになる

- × 廃校となった校区の通学距離が遠くなる
- × 廃校となった学校の児童への対応が課題
- × 廃校となった地域の避難所確保が課題
- × 不公平感が残る、意見集約が大変